

# 平成24年度 第2回 市民と市長の対話集会 市長と語りう！ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成24年（2012年）4月21日（土）  
午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 神田公民館 集会室
- 3 テーマ 田村地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者13名 傍聴者5名



神田公民館での集会の様子

## **5 市長あいさつ**

皆様、こんにちは。土曜日のお休みの中、お集まりいただき本当にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

市民の皆様と様々なお話をし、市政への反映を考えたく、昨年4月の就任以来、できるだけ地域に伺い、地域の皆様のお話を伺おうと取り組んでいます。この対話集会について、昨年度は4回開催させていただきました。テーマを防災対策とし、花水、金目、中原、四之宮地区に伺いました。今年度からの対話集会は地区自治会連合会を単位に27の地域へ伺い、それぞれの地域のまちづくりをテーマに地域の皆様と対話を行わせていただきます。

これからのまちづくりは行政が全て行えるものではありません。市民の皆様、民間のお力を借りなければできません。この視点から、皆様のお力を地域のまちづくりのために発揮していただきたいと考えます。平塚市はそれぞれの地域が人材、歴史、資源に富み、個性的な地域の集合体です。地域の特徴を活かしたまちづくりが進み、地域が輝くことが平塚市の輝きにつながります。

今年度の対話集会は今日が2回目の開催です。私も地元である田村地区のまちづくりについて、皆様と対話を行い、市政への反映を考えたいと思います。この場でお答えができないこともあるかと思えます。そのようなものは持ち帰り、お答えをさせていただきます。今日は皆様の屈託のない御意見を伺いたいと思います、よろしく願いいたします。

## 6 対話集会の内容

### ① 相模小学校、市営住宅跡地の利用について

#### 【参加者】

相模小学校移転の計画が進んでいます。計画の進捗状況について聞きたい。

#### 【市長】

相模小学校は道を挟んで神田小学校と隣接しています。約7割の児童が大神地区から通っています。隣接校の解消だけでなく、避難所としての利用等、小学校移転は大神地区の皆様の悲願です。苦渋の決断の中、大神地区には環境事業センターを引き続き引き受けていただくことになりました。その条件の一つである相模小学校の大神地区への移転に係る対応を行政が行っています。

移転までの流れについて御説明すると、現在新幹線の北側約70ヘクタールを区画整理し、環境に配慮した環境共生都市、ツインシティを計画しています。約30年間、地元の皆様との話し合いが行われてきました。平成24年度から平成25年度にかけて図面を基に、どこに何をつくるかという都市計画決定まで行いたいと考えています。その中の土地を平塚市が買い取り、そこに相模小学校を移転させようという計画が進んでいます。移転に伴い、学区の再編成も必要です。確定ではありませんが、原則、大神という字に住む児童は相模小学校に、田村という字（あざ）に住む児童は神田小学校に通うことになると思います。移転後の相模小学校について、現在の状況でも各学年2クラス以上は維持できることを調査してあります。さらに、ツインシティにより約3,000人の人口増加が予測され、児童数に係る学校施設維持に関しては問題ありません。平成30年4月開校を目指して計画を進めています。

#### 【参加者】

市営田村植竹住宅の解体後の跡地利用について聞きたい。

#### 【市長】

現在、市営田村植竹住宅には数世帯の住民の方が残っています。行政では住民の皆様の転居先を紹介させていただいています。

解体後の跡地利用方法については決まっていなく、検討事項です。また、隣にある消防訓練場が豊田にある車検場の近くに移転します。訓練場跡地については、違法駐輪自転車の置き場所として考えていますが、他の利用方法についても考える必要はあります。

具体的なお話ができず申し訳ありませんが、市営田村植竹住宅及び消防訓練

場の跡地の利用方法については、今後も検討していきます。

**【参加者】**

神田公民館にも体育館はありますが、大変人気があり予約を取れない人がいます。相模小学校の体育館について、市民が利用できる施設として残すことはできますか。また、避難所としての利用を続けることはできますか。

**【市長】**

公共施設として残せるものであるかについては、今後の地域の皆様との話し合いの中での検討になります。

市の財政は大変厳しい状況が続き、庁舎、市民病院、環境事業センターという大きな事業の予算を除いた今年度の一般会計予算は昨年度に比べて減っています。逆に、社会福祉にかかる費用は毎年増えていきます。限りある予算の使用方法を絞り込まなければならない時代になりました。その中で、公的財産を維持し続けることは難しくなっています。相模小学校跡地が高く売れるのであれば、財産処分をしてお金を生み出さなければいけません。

また、相模小学校は耐震補強を完了しています。耐震補強を行う時に国からの援助を受けています。援助は一定の期間利用することが条件であり、期間前の取り壊しとなると補助金を返さなければいけません。相模小学校移転が予定通り行われると、移転に伴う費用と国への返還のための費用がかかります。

大変頭を悩ますところですが、地域の皆様とともに考えていきたいです。御意見のような地域の皆様の声はしっかりと課題とし、跡地の検討についても地域の皆様が必要なものは何なのかを考えながら行っていきます。

**【参加者】**

田村地区には総合病院がなく、シャトルバスを走らせてもらい平塚共済病院、平塚市民病院に通っています。相模小学校跡地への総合病院の誘致について、市長はどのように考えていますか。

**【市長】**

田村地区にも診療所はありますが、地域の長年の希望が、総合病院を田村地区に呼ぶことです。相模小学校跡地に病院を誘致する話もありましたが、あれだけの大きな敷地を利用するような大きな病院はなかなかありません。

ツインシティにも医療機関を誘致する計画があります。手を挙げていただけそうな病院もあり、ぜひツインシティへの総合病院誘致を考えています。結論としては、ツインシティの中に総合病院を計画する方法を考えています。

## ② 防災対策について

### 【参加者】

市営田村宮の前住宅では防災行政用無線の放送が聞き取りにくいです。市営田村宮の前住宅敷地内に防災行政用無線を設置できませんか。

### 【市長】

防災、災害に係る情報は早急に皆様に伝える必要があります。現在、ツイッターでは平塚市の防災に係る情報を発信しています。他には緊急災害情報をエリア内にある携帯電話に届ける緊急速報メールも導入しました。防災行政用無線の補完的な手段であるテレフォンガイドでは、防災行政用無線の放送内容を確認できます。自治会長にお配りしていましたが防災無線が聞こえなくなってきたため、同様に緊急災害情報が飛び込んでくる防災行政用ラジオを520台購入し自治会長等にお配りしました。

防災行政用無線については、どの地域でも課題として取り上げられます。風向き、住宅の密閉性等により聞き取りにくくなります。市営田村宮の前住宅敷地内への防災行政用無線の設置は担当課で考えさせていただきます。

### 担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

防災行政用無線の放送が聞き取りにくいという受信所については、スピーカーの向きを調整したり、出力を変えたりしながら随時改良しています。

御要望にありました防災行政用無線の新規設置については、現在のところ予定はありません。老朽化等により機能が低下した場合には、設備を更新することで放送環境の改善に努めてまいります。

なお、風向きによって放送が聞こえにくい場合には、防災テレフォンガイド（0180-99-4956 または 0463-22-4956）やほっとメールひらつか（詳細は本市ホームページを御覧ください）でのメールの配信で放送内容の御確認をしていただくことができますので、こちらも御利用下さい。

（事務担当は防災危機管理課防災担当）

### 【参加者】

地域では多くの住民が集まる機会があり、高齢者も多く集まります。そのような時に災害が起きた場合、各地に海拔表示や避難所へ誘導するようなものがあれば避難誘導を行うことができます。現在の防災対策についても聞きたい。

### 【市長】

海拔表示板は東海道線以南の地域や相模川、金目川沿い、市内の各避難所と

なる学校付近に180か所あります。さらに、津波の溯上に備えて、相模川、金目川沿いを含め、今後さらに90か所の増設をしていきたいと考えます。

同時に、現在防災マップを作成しています。揺れやすさ、建物の倒壊率、過去に液状化した場所、津波避難ビル・避難所・臨時救護所の位置、津波への意識啓発等も盛り込み、裏側に津波浸水予測図を載せ、平成24年度中に市内全戸にお配りする予定です。ぜひ、災害発生時はもちろん、平常時からの防災対策にも役立てていただきたいと思います。

#### 【参加者】

相模川の堤防について、一部未完成な場所があります。30メートルから40メートル程堤防がないため、津波の溯上時には心配です。遡上した津波から浸水が起きた時には田村地区にも被害が発生すると思われます。早急に対応すべき課題です。

#### 【市長】

相模川の右岸側、平塚市側の堤防整備率は約84パーセントです。未整備部分が銀河大橋の下と河口です。平塚市は国道134号線が約8メートルあり、県の予測でも、津波は国道を超えません。しかし、津波の溯上による相模川、金目川からの浸水の被害は予測されています。相模川を管轄する国には、毎年要望を続け、昨年夏には国土交通大臣に直接会って、早く整備を行うよう要望もしました。今後も国、県への要望を続けていきます。

すでに護岸整備の計画はありますが、銀河大橋の下、鹿見堂には排水路があります。ゲリラ豪雨等により、雨水を排水しきれないことがありました。これから、ボックスカルバートという筒状のコンクリートを埋め込んで排水容量を増やします。この工事の完了後に堤防の整備を行う予定です。

#### 【参加者】

防災対策は地域の住民の協力も必要です。火災が起きた時のために、地域に消火栓につなぐホースと消火栓を開ける道具があれば、地域の住民による消火作業ができます。

#### 【市長】

立野町や桃浜町では狭隘道路が多く、火事が起きた時に延焼が起きる危険があるため、地域の皆様に消火栓を使い対応していただくための訓練も行っています。設備についても、順番に必要な地域から充実させていきたいと考えます。

#### 【参加者】

防災対策には地域のつながりが必要だと思います。例えば、隣組等を防災対

策に利用できれば良いと思います。

**【市長】**

御意見のとおりです。災害対応には、自助、公助、共助があります。自助とは、自分の身は自分で守るというものです。例えば、御自宅の耐震補強を行っていただくこともあります。情報として、御自宅の耐震補強に対しては市からの補助金の制度もあります。公助について、行政が行うべき防災対策はしっかりと行っていきます。そして、地域で地域を守るという共助、共助にはどれだけお互いを知り合っているかということが重要です。田村地区は横のつながりが強く、先進的な防災対策の取り組みを行ってきた地域です。自治会を中心とした自主防災組織の中でも、つながりをつくる取り組みを行っていただき、地域の防災対策につなげていただきたいと思います。

また、災害時に援助が必要な方、独居の高齢者や障がいのある方について、避難の支援等地域での助け合いを支援する要援護者登録制度を進めています。

### ③ ごみ対策について

#### 【参加者】

ごみ集積場ではカラスの被害が問題です。ネットで覆っても上からつついてしまいます。フェンスやコンクリートで上下、左右を囲う小屋のようなものを造ってほしいと思います。

また、住民の意識も低く、生ごみの水を切ったり、ペットボトルを洗ったりして捨てることさえできない人もいます。ごみの捨て方や資源ごみについて、広報等で分かりやすく周知してほしいです。

#### 【市長】

ごみは集積場を指定し、分別して出していただいています。地域の皆様、自治会の皆様の御協力がなければ行えません。カラスの被害への対応等を含めた集積場に囲みを造ることについて、担当課にて考えさせていただきます。

この度、大磯町、二宮町と平塚市、1市2町でごみ処理の協定を結びました。各市町が処理を行うごみの分野を決めたものです。平塚市は大きなごみの焼却等、大磯町はし尿処理等、二宮町は剪定枝の処理等と分野を分けたものです。

しかし、ごみの焼却を担当する平塚市の環境事業センターの1日の処理には限度量があります。大磯町、二宮町にもごみの減量化をお願いし、また平塚市民の皆様にもより一層のごみの減量化、資源化をお願いする必要があります。

また、再度ごみの捨て方、資源ごみの周知の強化も行いたいと考えます。

#### 担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

開発事業に伴うごみ集積所の場合は、小規模で地区自治会管理集積所への排出同意を得られる場合を除き、まちづくり条例に定める大きさ、形状（接道面以外の三方をコンクリートまたはコンクリートブロック造りの外壁で囲み、外壁の高さ及び奥行は原則として80センチメートル以上とすること）での設置を事業者に指示しています。

一方、自治会申請により設置されるごみ集積所は、私有地内や道路上を使用するケースが多く、構造物を設置することができません。

ごみ集積所の衛生的な管理とカラス対策のため、本市では、どなたにでもすぐに対応がとれる生ごみの水切りや袋を二重にする等の対策を市民の皆様に御提案する場合があります。集積所のカラス対策については、他市町村の対策等も参考にしながら良案を模索してまいります。

（事務担当は環境業務課収集業務担当）

#### ④ 防犯対策について

##### 【参加者】

田村地区では盗難等の犯罪が後を絶ちません。対策のために、自治会でパトロールを行っています。昨年度は17回、約170名に参加していただき、夜間パトロールを行っています。田村地区から犯罪が無くなるよう活動を続けています。

##### 【市長】

田村地区は国道129号線が近く、盗難したものを運びやすい地域であるため狙われやすいそうです。当然、警察は承知していますが、担当課を通して再度対応するようお願いをします。警察と行政との連携強化も進めていきたいと考えます。

また、人の目があるということが犯罪の抑止力になりますので、パトロールについては今後も御協力をお願いいたします。

地域の皆様による子どもたちのための見守り隊もあります。地域の皆様の目で子どもたちを犯罪から守っていただいています。

地域の皆様には大変御苦勞をおかけしますが、今後も防犯対策についての御協力をお願いいたします。

##### 担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

本市が管理する田村地区内の防犯街路灯（蛍光灯）のうち24灯を平成23年度において、高照度のLED灯に交換し、犯罪が起きにくい環境づくりを推進しました。

また、市内における空き巣・ひったくり・振り込め詐欺・不審者等の最新情報をメールにより配信（「ほっとメールひらつか」に事前登録いただいた方）をし、各種防犯情報の発信に努めています。

今後も警察、防犯協会の関係機関と連携し、地域における防犯活動の強化に努めてまいります。

（事務担当はくらし安全課安心安全担当）

##### 【参加者】

相模川の土手は春になると、雑草が非常に伸びてしまいます。6月末くらいに1回目の除草をしてくれますが、その時にはすでに草は伸びきっています。除草作業も年に2回に減ってしまいました。

子どもたちが行き交う場として防犯上良くないと思いますし、冬は伸びきった草が枯れてしまうので、火事が起きたら危険です。相模川は国の管轄である

とは思いますが、対策を考えてほしいです。

**【市長】**

御意見のとおり、相模川の土手は京浜河川事務所の管轄になります。再度、地域の皆様が困り、防犯上、防災上の観点から除草を行ってもらうようお願いいたします。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

神川橋より下流の相模川については、国の管理となっています。このため、所管の国土交通省の京浜河川事務所、相模出張所に確認したところ、除草の頻度は全国一律で決まっており、2年前から除草が年2回、集草（刈った草の回収）が年1回に削減されているとのことです。また、今年度は、梅雨前に除草、集草を1回実施し、8月頃に除草のみもう1回実施の予定とのことです。詳細の確認や御要望等については、下記へお願いいたします。

○国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 相模出張所

電話0463-21-3713

なお、除草の回数を増やしてほしいという要望については、本市からも伝えます。

（事務担当はみどり公園・水辺課水辺・海浜担当）

## ⑤ 情報の格差、ツインシティについて

### 【参加者】

環境事業センター、ツインシティの計画等、大神地区と田村地区では情報に差があると思います。ぜひ、同じ説明、情報をお願いします。

### 【市長】

環境事業センターの計画等の進捗状況を田村地区の皆様にもお示ししなければなりません。今後は自治会経由等にてお示ししたいと思います。

ごみ処理協定に基づく環境事業センターの計画を、田村地区、大神地区、横内地区の皆様にも説明を行うよう指示してあります。ごみの収集車が田村地区を通るために、様々な情報提供はさせていただきたいと思います。

ツインシティの計画について、以前は先が見えない計画でしたが、具体的になってきました。経緯は、新幹線新駅誘致の計画が起り、寒川町に駅をつくり、大神地区を橋でつなぎ、両方を発展させる計画でした。現在は、先にまちを発展させる計画で、リニア中央新幹線開通による東海道新幹線の運行ダイヤの緩和のほか、東海道新幹線新駅を造る受け皿となるまちづくりによる交通網の整備などを見定めて、JRによって新駅設置の可否が判断される見通しです。県も同様の方針で、市、町と連携して進めています。

また、相模原にリニアモーターカーの新駅ができます。県の最終的な目標は、リニアモーターカーを東京から関西に向かう特急機能とし、新幹線新駅を新横浜と小田原の真ん中である倉見地区に誘致し、新幹線を各駅機能とすることです。また、交通体系として、いずみ野線が湘南台駅まで来ており、湘南台駅から慶応大学湘南藤沢キャンパスまでの延伸を検討しています。ツインシティまで近いので、路面電車等をつなぎ、いずみ野線を利用したツインシティから西への交通体系も考えはじめています。相模線の複線化もツインシティとペアで考えています。

今後、相模川を中心とする縦の地域は県が強化を図るスポットです。県は今後、相模川を中心とする西部地域の強化を図ろうとも考えています。

道路では、圏央道が開通間近ですが、完成すると平塚市の交通は非常に便利になります。事実、西八幡にJAの青果センターができました。全国からの青果物が集まり首都圏に運ばれていく場所です。このような点から、今後、平塚市は流通拠点となれる可能性も持っているまちです。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

御要望いただいたことについて、今後は環境事業センターの工事の進捗状況

のお知らせ（建設工事便り）や田村地区に関連する事項については、回覧を活用し情報を提供してまいります。

（事務担当は資源循環課施設整備担当）

## ⑥ 地域活動、部活動について

### 【参加者】

地域活動のスポーツ大会開催のために場所を探しています。どの施設を申し込んでも抽選で当たりません。

### 【市長】

スポーツによる健康づくりをすることが医療、介護に係る費用を抑えることにつながります。市民の皆様のスポーツによる活動の役割を非常にありがたく考えています。

スポーツを行う施設については、他市町村に比べても充実はしています。しかし、抽選において、一つの団体が複数の申し込みをして施設をおさえてしまっているという問題もあります。

担当課には複数の申し込みに係るチェックをしっかりと行い、市民の皆様が公平に施設を利用できる状況をつくるよう指示してまいります。

### 【参加者】

田村地区に住む生徒が他の学区の中学校に通っている場合があります。おかげで、神田中学校の部活動の中には部員が少なく、部活動が成り立っていないものがあります。

### 【市長】

私は地域の子どもはその地域で育つことが一番良いと思います。

指導者不足等によって学区の中学校に希望の部活動がなく、他学区の中学校への通学を認められることがあります。

教育長、教育委員会には、先生方が部活動に取り組みやすい環境づくりを行うようお願いしています。

## 7 市長によるまとめ

今日はたくさんのお話をさせていただきありがとうございました。また、時間が足りなく大変申し訳ありませんでした。すぐ近くに住んでいますので、またお話を聞かせていただきたいと思います。

今日は様々なお話をさせていただく中で、改めてこの田村地区の皆様が感じている課題を聞かせていただきました。はっきりとお答えをすることができなかったこともありましたが、必ず担当課に話をし、再度皆さんにお答えをさせていただきます。

私はこの地で育ち、このまちは古里です。この地域を住みやすいまちにしたいと考えています。皆様に田村地区に住んで良かったと思われるような取り組みを続けていきます。

今後とも皆様の御協力をお願いして、まとめとさせていただきます。

皆様、今日は本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【回答数 12件（参加者 12件 傍聴者 0件）】

### 参加者・傍聴者について

#### 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	1名	1名	0名	7名	3名	0名

#### 性別

男性	8名
女性	3名
不明	1名

**質問1** 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	3名	0名	3名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	9名	0名	9名
市ホームページ	0名	0名	0名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問2** 市長との対話はいかがでしたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	5名	0名	5名
まあよかった	7名	0名	7名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問3** 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

**回答**

- ・時間が少なかったため
- ・テーマが多岐にわたっているため

**質問4** 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

**回答**

伝わった	3名
まあ伝わった	6名
どちらともいえない	0名
あまり伝わらなかった	1名
伝わらなかった	0名
回答なし	2名

**質問5** 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。  
(参加者対象)

**回答**

なし

**質問6** 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

**回答**

なし